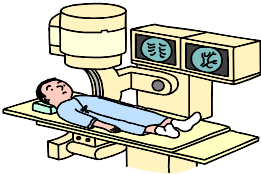


経皮的血管形成術(6日コース)を受ける患者さんへ

【患者さん用クリニカルパス】

ID: 患者氏名: 様

経過	入院日 (経皮的血管形成術前日)	入院2日目	入院3日目	経皮的血管形成術当日 (治療前)	経皮的血管形成術当日 (治療後)	5日目 (治療後1病日)	6日目 (退院日)
日付	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()		月 日 ()	月 日 ()
目標	治療の内容が理解でき、 検査・治療を受けることができる。	治療の内容が理解でき、 検査・治療を受けることができる。	治療の内容が理解でき、 検査・治療を受けることができる。	予定通りに治療が終了することができる。		合併症出現なく経過できる。	退院指導の内容がわかる。
	・医師より治療の説明を行います。 ・看護師が入院生活および治療の説明を行います。 (説明後、承諾書を記入し、提出して下さい) (医師・看護師の説明でわからないこと、心配なことがあれば何でもお話し下さい) ・御希望により、栄養指導・服薬指導が受けられます。	医師・看護師の説明で 分からないことがあれば 何でもお話し下さい	医師・看護師の説明で 分からないことがあれば 何でもお話し下さい	治療中ご家族の方は 病棟でお待ちください。 	・医師から治療結果について説明があります。 ・カテーテルを挿入した足は6時間は曲げないでください。6時間たてば寝返りや座ることができます。 ・患者さんが落ち着かれましたら、ご家族の方は帰宅可能となります。		・退院指導を行います。 ・医師から検査の経過と今後の内服などについて説明があります。(治療直後に行うこともあります) ・退院後の生活で、不安な点があれば遠慮なくお聞きください。
治療 処置	・身長・体重を測ります。 ・体温・脈拍・血圧を測ります。 ・足背の動脈と大腿の動脈の拍動を観察し印をつけます。 ・手首の動脈(正中・橈骨)の拍動を観察し印をつけます。 ・治療に必要な部位(橈骨または大腿)を必要時除毛します。 		足から 治療する場合	・治療前に点滴を開始します。 ・治療の前に排尿し、検査着に着替えます。	・点滴を継続します。 	・カテーテルを入れた部位の消毒を行います。 ・治療翌日に採血と四肢血圧脈波検査を行います。 ・症状がなければ留置針を抜去します。 	カテーテルを入れた部位の 消毒を行います。
			手首・肘から 治療する場合	・治療前に肘や手首に麻酔のテープを貼ります。 ・治療前に点滴を開始します。 ・治療の前に排尿し、検査着に着替えます。	・点滴を継続します。 ・手首からカテーテルを挿入した場合はバンドで固定します。 ・肘からカテーテルを挿入した場合は副え板をして包帯固定します。		
検査	・採血・胸部X線撮影・心電図の検査を行います。 ・心臓超音波検査、四肢血圧脈波検査を行うこともあります。						
生活 行動	生活に制限はありません。 			ベッドで1階のカテーテル検査室へ向かいます。	・治療後はベッド上で安静にして下さい。 ・治療後は、6時間たてばトイレまで歩くことができます。		
清潔	毛を剃った後、 入浴またはシャワー浴ができます。 					傷の状態に異常がなければ 入浴できます。	傷の状態に異常がなければ 入浴できます。 
食事	治療食となります。(カロリー・塩分制限) 水分に制限はありません。			・午前治療は朝食が出ません。 ・午後治療は昼食が出ません。	治療後、吐き気がなければ 飲水・食事をすることができます。 		
内服薬	今まで飲んでいた薬を 変更することがあります。						退院時内服処方が必要に応じ 出ることがあります。
観察					・カテーテルを入れた所の出血の有無を確認します。 ・止血用のバンドがきつすぎないか確認します。 ・帰室後1時間毎に3回、体温・脈拍・血圧・橈骨動脈の拍動の観察を行います。		
その他	治療の状況により、両側の足の付け根の動脈からの治療になる可能性もあります。				治療終了後、造影剤を早く排泄するために、水分(お茶・水)を多めにとりましょう。		
備考							

注) 予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。